

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和2年8月21日

計画の名称	自然・文化的、スポーツ資源を活用した地域の憩いと賑わいに資する公園づくり（第4回変更）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成29年度～令和元年度（3年間）	交付対象	兵庫県	
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「森と水と人とが共生する環境創造のまち」をテーマに生物多様性に資する都市緑地を整備し、森づくりを通じた自然環境学習・体験プログラムや森を活用した大規模イベント開催による集客を図り、尼崎臨海地域の自然再生と魅力と活力あるまちづくりを推進する。 ・スポーツ大会・合宿の誘致を核とした地域間交流の拡大や誘客により、淡路地域の魅力と活力あるまちづくりを推進する。 ・計画的な公園施設の老朽化対策を行うことで、既存ストックを有効活用し、公園の魅力を維持することで活力あるまちづくりを推進する。 			

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の森中央緑地の来園者数を565千人（H28年度末）から588千人（R1年度末）に増加させる。 ・尼崎の森中央緑地で育てた地域性苗による植栽の累計種数を94種（H28年度末）から130種（R1年度末）に増加させる。 ・尼崎の森中央緑地で育てた地域性苗による植栽累計本数を86,000本（H28年度末）から89,200本（R1年度末）に増加させる。 ・淡路佐野運動公園の来園者数を210千人（H28年度末）から220千人（R1年度末）に増加させる。 ・淡路佐野運動公園のスポーツ合宿利用延日数を30日（H28年度末）から45日（R1年度末）に増加させる。 ・公園施設の管理状態に関する公園利用者の満足度（「満足」又は「やや満足」）の割合を81%（平成28年度末）以上で維持する。 			
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R1末)									
尼崎の森中央緑地の来園者数で算定する。	565千人	577千人	588千人									
尼崎の森中央緑地で育てた地域性苗による植栽の累計種数で算定する。	94種	117種	130種									
尼崎の森中央緑地で育てた地域性苗による植栽累計本数で算定する。	86,000本	88,800本	89,200本									
淡路佐野運動公園の来園者数で算定する。	210千人	210千人	220千人									
淡路佐野運動公園のスポーツ合宿利用延日数で算定する。	30日	30日	45日									
舞子公園ほか14公園の利用者満足度調査結果（「公園施設の管理状態」にかかる満足度が「満足」又は「やや満足」の割合）で算定する。	81%	81%以上	81%以上									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,307百万円	A	2,271百万円	B	0百万円	C	36百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.56%

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	R1					
A-1	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都市公園事業（尼崎の森中央緑地）	用地、園路、広場等 1.6ha	尼崎市					448	2.5	-	
A-2	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都市公園事業（淡路佐野運動公園）	屋内練習場 等	淡路市					900	1.3	-	
A-3	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都市公園事業（三木総合防災公園）	陸上競技場舗装更新	三木市					61		-	
A-4	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	公園施設長寿命化対策支援事業（舞子公園ほか14公園）	運動施設、遊戯施設、照明灯等の改築	神戸市ほか					751		策定済	
A-5	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	公園施設長寿命化計画策定調査	健全度調査等（舞子公園ほか14公園）	神戸市ほか					111		-	R2計画変更予定
合計												2,271		-		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	R1					
合計												0				

C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1			
C-1	施設整備	一般	兵庫県	直接	兵庫県	管理施設等の整備（尼崎の森中央緑地）	管理施設等の整備	尼崎市					28	
C-2	施設整備	一般	兵庫県	直接	兵庫県	管理施設等の整備（淡路佐野運動公園）	管理施設等の整備	淡路市					8	
合計												36		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
C-1	(A-1)都市公園整備事業(尼崎の森中央緑地)と一体で実施すれば、都市公園の管理運営を効果的・効率的に実施することができ、整備効果の向上に寄与する。											
C-2	(A-2)都市公園整備事業(淡路佐野運動公園)と一体で実施すれば、都市公園の管理運営を効果的・効率的に実施することができ、整備効果の向上に寄与する。											

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1				
									合計						
番号													備考		

交付金の執行状況

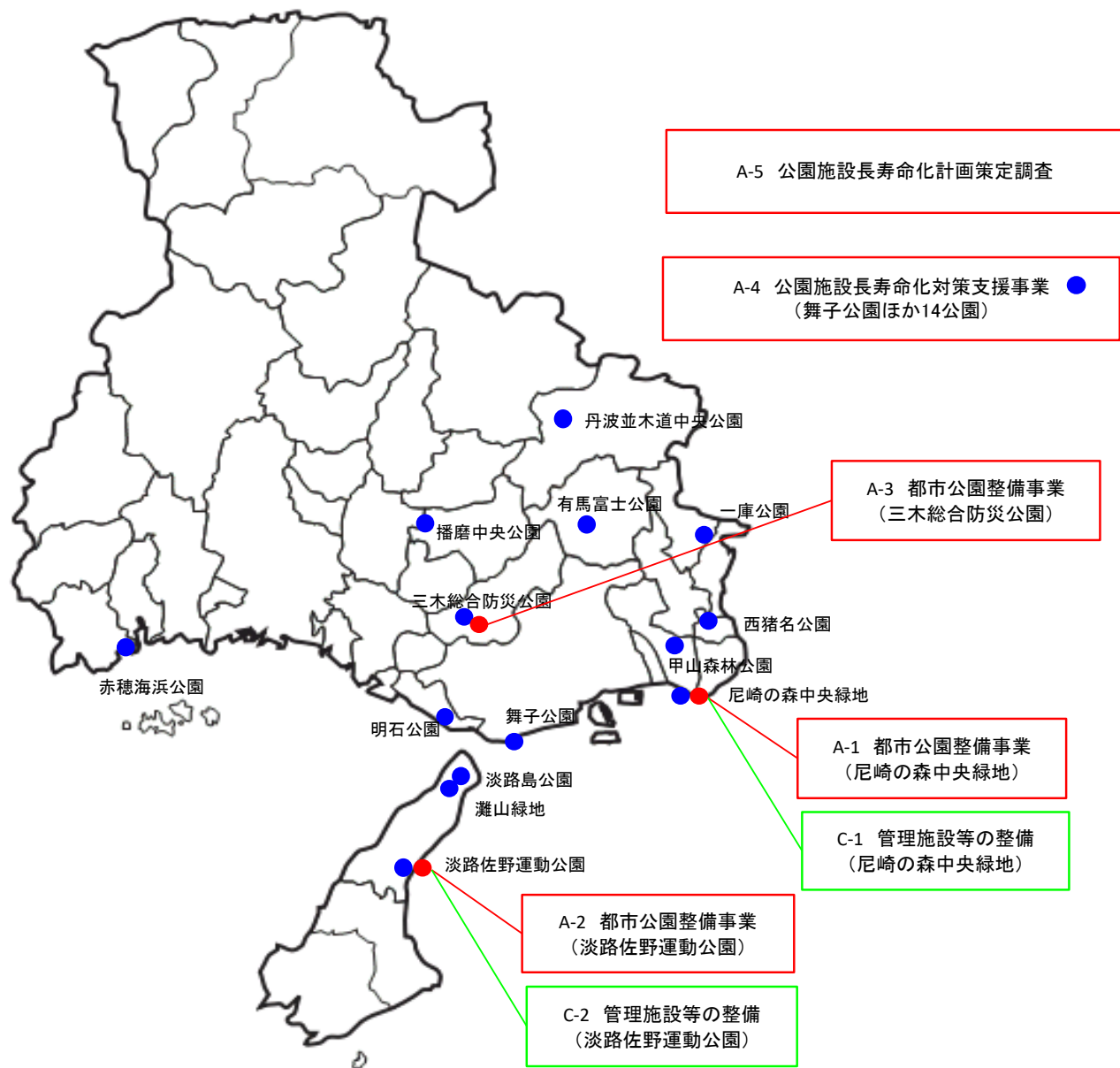
(単位：百万円)

	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	954	822	480	0
計画別流用 増△減額 (b)	0	52	0	0
交付額 (c=a+b)	954	874	480	0
前年度からの繰越額 (d)	0	86	351	252
支払済額 (e)	868	608	579	252
翌年度繰越額 (f)	86	351	252	0
うち未契約繰越額 (g)	4	277	146	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.4%	28.9%	17.6%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由		防災対応により より工事発注に 遅れが生じた ため。	施設の利用 調整に時間 を要したた め。	

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	自然・文化的、スポーツ資源を活用した地域の憩いと賑わいに資する公園づくり（第4回変更）		
計画の期間	平成29年度～令和元年度（3年間）	交付対象	兵庫県



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 自然・文化的、スポーツ資源を活用した地域の憩いと賑わいに資する公園づくり(第4回) 事業主体名: 兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関係法令等との適合等	
1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤地元の機運	
1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○